

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月26日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,198	8.6	818	3.5	825	5.0	577	7.9
29年3月期第3四半期	16,764	7.9	790	10.9	786	11.5	535	12.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 621百万円 (5.8%) 29年3月期第3四半期 587百万円 (24.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	99.19	
29年3月期第3四半期	91.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	15,075	10,538	69.9	1,809.77
29年3月期	15,026	10,016	66.7	1,720.08

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 10,538百万円 29年3月期 10,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		17.00	17.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,504	3.7	1,254	3.0	1,254	3.8	842	2.1	144.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,262,020 株	29年3月期	7,262,020 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,438,934 株	29年3月期	1,438,859 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	5,823,118 株	29年3月期3Q	5,823,161 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の条件となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感が懸念されたものの、政府および日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景として、雇用・所得環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、セールスプロモーション、イベントといった顧客企業にとっての手段を提供するだけでなく、それらを使って「ユーザーともっとよい関係を作りたい」、「より多くの商品・サービスをご利用いただきたい」といった顧客企業にとっての「売れる仕組みづくり」の支援を目指しております。

こうした方針のもと、リアルとWEB、販促と物流の好循環による新たな収益機会を作っていくための基本戦略として、「デジタル時代のDMへの対応強化」「顧客企業の売上を伸ばす物流事業の推進」「2020年に向けたSP・イベント分野の受注促進」に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、181億98百万円（前年同期比8.6%増）となりました。営業利益は、8億18百万円（同3.5%増）となりました。経常利益は、営業外収益が24百万円（同28.7%増）、営業外費用が17百万円（同26.6%減）となった結果、8億25百万円（同5.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を2億66百万円としたことにより5億77百万円（同7.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

既存顧客の取引窓口の拡大や物流サービスの新規受注を促進した結果、ダイレクトメールと通販物流の取扱いが伸び、売上高は169億47百万円（同8.4%増）、セグメント利益は10億85百万円（同9.0%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務に注力した結果、売上高は8億11百万円（同5.8%増）、セグメント利益は一部の既存販促支援業務等における業務効率向上の効果により1億34百万円（同9.4%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・観光振興・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は3億71百万円（同25.8%増）、セグメント損失は11百万円（前年同期セグメント損失23百万円）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等の売上高は58百万円（同6.7%増）、セグメント利益は30百万円（同21.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に売上債権が5億56百万円増加しましたが、現金及び預金が5億75百万円、信託受益権が95百万円それぞれ減少したことにより、全体として60億85百万円（前連結会計年度末比1億16百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が1億65百万円、建設仮勘定が1億41百万円それぞれ減少しましたが、土地が1億63百万円、ソフトウェア仮勘定が1億79百万円、差入保証金・敷金が1億1百万円、保有株式の時価上昇などで投資有価証券が30百万円それぞれ増加したことにより、全体として89億89百万円（同1億65百万円増）となりました。

その結果、資産合計では、150億75百万円（同48百万円増）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が5億67百万円増加しましたが、一年以内償還予定社債が2億77百万円、短期借入金が7億13百万円、前受金が5億60百万円それぞれ減少したことにより、全体として35億14百万円（同10億35百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に長期借入金が5億36百万円増加したことにより、全体として10億22百万円（同5億61百万円増）となりました。

その結果、負債合計では、45億36百万円（同4億73百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益5億77百万円の計上と配当98百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて4億78百万円の増加となりました。そのほか、株式市場等の上昇を受けてその他有価証券評価差額金が37百万円（税効果分は除く）増加したことにより、全体として105億38百万円（同5億22百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,742	865,242
受取手形及び売掛金	3,511,681	4,067,793
仕掛品	842,417	872,720
立替郵送料	101,521	121,627
繰延税金資産	99,388	51,921
その他	210,274	110,616
貸倒引当金	△3,778	△4,247
流動資産合計	6,202,246	6,085,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,346,434	2,243,585
機械装置及び運搬具（純額）	560,476	460,678
土地	3,621,496	3,785,089
リース資産（純額）	46,290	28,663
建設仮勘定	164,091	22,190
その他（純額）	92,267	165,031
有形固定資産合計	6,831,057	6,705,239
無形固定資産	55,164	230,192
投資その他の資産		
投資有価証券	625,071	655,878
投資不動産（純額）	866,664	852,361
その他	445,879	545,724
投資その他の資産合計	1,937,616	2,053,964
固定資産合計	8,823,838	8,989,395
繰延資産		
社債発行費	801	—
繰延資産合計	801	—
資産合計	15,026,887	15,075,068

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,758,486	2,325,952
1年内償還予定の社債	277,100	—
短期借入金	855,250	141,500
リース債務	32,242	25,211
未払法人税等	245,865	52,065
賞与引当金	211,480	112,847
その他	1,169,997	856,872
流動負債合計	4,550,422	3,514,449
固定負債		
長期借入金	—	536,000
リース債務	28,727	11,630
繰延税金負債	117,123	134,436
退職給付に係る負債	197,938	205,486
役員退職慰労引当金	55,010	58,635
再評価に係る繰延税金負債	18,327	18,327
その他	43,014	57,618
固定負債合計	460,141	1,022,133
負債合計	5,010,563	4,536,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	8,665,199	9,143,831
自己株式	△582,792	△582,888
株主資本合計	10,643,223	11,121,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221,259	259,252
土地再評価差額金	△814,388	△814,388
退職給付に係る調整累計額	△33,771	△28,139
その他の包括利益累計額合計	△626,900	△583,274
純資産合計	10,016,323	10,538,484
負債純資産合計	15,026,887	15,075,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,764,528	18,198,435
売上原価	15,139,478	16,461,083
売上総利益	1,625,050	1,737,351
販売費及び一般管理費	834,218	919,064
営業利益	790,832	818,287
営業外収益		
受取利息	265	88
受取配当金	11,066	11,793
雑収入	7,566	12,441
営業外収益合計	18,898	24,323
営業外費用		
支払利息	21,875	16,423
その他	1,825	974
営業外費用合計	23,701	17,397
経常利益	786,028	825,213
特別利益		
投資有価証券売却益	—	29,935
固定資産売却益	—	889
特別利益合計	—	30,824
特別損失		
固定資産売却損	—	1,300
固定資産除却損	6,013	10,124
特別損失合計	6,013	11,424
税金等調整前四半期純利益	780,014	844,613
法人税、住民税及び事業税	190,548	224,597
法人税等調整額	54,042	42,391
法人税等合計	244,590	266,988
四半期純利益	535,424	577,625
親会社株主に帰属する四半期純利益	535,424	577,625

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	535,424	577,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,458	37,992
退職給付に係る調整額	5,869	5,632
その他の包括利益合計	52,327	43,625
四半期包括利益	587,752	621,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	587,752	621,250
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモ ーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,627,582	766,478	295,260	54,990	16,744,312	20,216	16,764,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	90	90	302	392
計	15,627,582	766,478	295,260	55,080	16,744,402	20,519	16,764,921
セグメント利益又は損 失(△)	995,775	122,980	△23,314	25,464	1,120,905	12,436	1,133,342

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,120,905
「その他」の区分の利益	12,436
セグメント間取引消去	△392
全社費用(注)	△342,117
四半期連結損益計算書の営業利益	790,832

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモ ーション部門	イベン ト 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,947,797	811,224	371,483	58,693	18,189,199	9,236	18,198,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	90	90	373	463
計	16,947,797	811,224	371,483	58,783	18,189,289	9,610	18,198,899
セグメント利益又は損 失(△)	1,085,328	134,513	△11,025	30,930	1,239,746	2,247	1,241,994

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,239,746
「その他」の区分の利益	2,247
セグメント間取引消去	△463
全社費用(注)	△423,243
四半期連結損益計算書の営業利益	818,287

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。